

令和2年度事業報告

◎法人本部

◎生活介護事業所こころの結

◎共同生活援助事業所こころの結

◎日中一時支援事業

◎特定相談支援事業所/障害児相談支援事業所こころの結

社会福祉法人結の会

1 社会福祉法人結の会の事業運営

社会福祉法人結の会定款に基づき、個人の尊厳を保持し、地域における自立した日常生活を営むことができるよう、創作的活動や生産活動の機会を提供したり、身体的機能や生活能力の向上のために必要な総合的支援に努めました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から施設行事等（グループ外出、パン販売等）を中止し、感染防止対策として、施設内・公用車の消毒、利用者のマスク着用・手指の消毒の徹底、保護者及び関係機関への周知・協力依頼を行いました。

(1) 理事会の開催（議決の省略）

① 第1回：令和2年6月3日

- ・社会福祉法人結の会 令和1年度事業報告(案)の承認について
- ・社会福祉法人結の会 令和1年度決算計算書類(案)及び付属明細書(案)並びに財産目録(案)の承認について

② 第2回 令和2年10月22日

- ・社会福祉法人結の会 監事候補者(案)について

③ 第3回 令和3年3月5日

- ・社会福祉法人結の会 給与規程の一部改正(案)について
- ・社会福祉法人結の会 職員人事考課規程(案)について
- ・社会福祉法人結の会 新型コロナウイルス感染症発生時対応事業継続計画(案)について
- ・社会福祉法人結の会 令和3年度 事業計画(案)について
- ・社会福祉法人結の会 令和3年度 資金収支予算書(案)について

(2) 評議員会の開催（議決の省略）

① 第1回：令和2年6月22日

- ・社会福祉法人結の会 令和1年度事業報告(案)の承認について
- ・社会福祉法人結の会 令和1年度決算計算書類(案)及び付属明細書(案)並びに財産目録(案)の承認について

② 第2回：令和2年11月13日

- ・社会福祉法人結の会 監事の選任(案)について

③ 第3回 令和3年3月5日

- ・社会福祉法人結の会 令和3年度 事業計画(案)について
- ・社会福祉法人結の会 令和3年度 資金収支予算書(案)について

(3) 監事会の開催

① 第1回：令和2年5月15日

- ・社会福祉法人結の会 令和1年度事業報告
- ・社会福祉法人結の会 令和1年度決算計算書類及び付属明細書並びに財産目録等の監査

(4) 第2種社会福祉事業の実施

- ① 生活介護事業所 こころの結の運営
- ② 共同生活援助事業所 こころの結の運営
- ③ 日中一時支援事業の運営
- ④ 特定相談支援事業所 こころの結の運営
- ⑤ 障害児相談支援事業所 こころの結の運営

2 生活介護事業所こころの結

新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑制を図る観点から施設内・車輛等の消毒、利用者の手指の消毒・バイタルチェックを徹底し、利用者の安全衛生に努めるとともに、家族・関係機関等への周知徹底を図りました。

今年度も管理運営規程に基づき、日課や週計画、年間計画を積極的且つ計画的に遂行し、利用者の地域における自立した生活に向けての快適な環境・安全衛生の確保に配慮し、軽作業やグループ活動・レクリエーション等に積極的に取り組みました。

より適切な支援を行なうために、利用者全員の個別支援計画を作成し、保護者に説明し、利用者の現状を理解・協力を促しました。

軽作業では、農耕や委託作業（ハンガー・金具・タッパー・CD分別等）を行い、分担しながら進めていきました。

レクリエーション活動では、ソーシャルディスタンスをとり、新型コロナウイルス感染症予防対策を図りながら、年間計画に基づいて実施しましたが、中止することもあり十分に活動することができませんでした。

利用者の会は、毎月実施し、行事の計画や反省等、様々な話し合いを行いました。利用者からの意見等を行事等に反映していくよう心掛けました。

給食会議では、調理師にも参画いただき、好みのメニューや選択メニューについての意見交換をして、楽しく食事ができる場づくりに取り組みました。

また、毎日2回、バイタルチェック（検温・血圧測定等）を行い、月初めには、身体測定（体重測定等）を行なうことにより、利用者の健康状態の把握に努めるとともに、家庭への連絡・調整を図りました。

特に、感染症予防対策として、外出時・食事前の手指の消毒、公用車の消毒を徹底強化しました。

(1) 入退所状況 (R2.4.1~R3.3.31)

(単位：人)

区分/月		R2 3.31	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入所	男		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	女		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
退所	男		-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女		-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
現員	男	23	23	23	23	23	23	23	23	23	22	22	22	23
	女	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12
	計	36	36	36	36	36	35	35	35	35	34	34	34	35

(2) 利用状況 (R2.4.1~R3.3.31)

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	643	554	695	665	546	617	692	615	617	600	565	734
月平均	31	31	32	32	29	31	31	32	31	32	31	32
稼働日数	21日	18日	22日	21日	19日	20日	22日	19日	20日	19日	18日	23日

(3) 利用者の年齢 (平均年齢：33歳3か月) 令和3年3月31日現在 (単位:人)

年齢	男子	女子	計
15～19歳	2	1	3
20～29歳	10	2	12
30～39歳	10	3	13
40～49歳	0	2	2
50～59歳	1	4	5
60歳以上	0	0	0
計	23	12	35

(4) 通所の方法 (令和3年3月31日現在) (単位:人)

区分	送迎車	電車・バス	自転車	徒歩 ※	自家用車	計
男子	18	0	0	4	1	23
女子	6	0	0	5	1	12
計	24	0	0	9	2	35

※グループホーム利用者も含む

(5) 障害支援区分 (令和3年3月31日現在) (単位:人)

区分	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男子	0	0	3	16	4	23
女子	0	0	5	3	4	12
計	0	0	8	19	8	35

(6) 生活の支援

担当制を設けて、担当による利用者に対する個別相談や日常生活支援を家庭との連携を持ちながら実施しました。グループ活動や利用者の会等の活動を通じて自主性や協調性を培い、各種の行事を通じて集団生活のルールなどを学び、社会適応能力を高めています。

① グループ活動

<創作グループ>

陶芸	気候が良い時期には、参加者を募り、ソーシャルディスタンスをとり、みんなで楽しく陶芸づくりに取り組みました。製作した作品は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域の作品展示コーナーに出品できず、地域との交流を深めることができませんでした。
書道	ボランティアの協力(4月・7月・12月)により、利用者全員で書道に取り組む予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、実施することができませんでした。
さをり織	声かけ等により、さをり織りに参加してもらえる人が徐々に増えてきました。ソーシャルディスタンスをとり、さをり織りをしましたが、施設のイベントで販売したり、地域の作品展等に出品することができませんでした。
カラオケ	利用者が楽しみにしているカラオケは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、今年度は中止としました。
環境整備	季節の良い時期には、ソーシャルディスタンスをとり、定期的に施設内の除草作業を行い、施設周辺をきれいにすることができました。
掲示物	利用者の活動状況の写真等を画用紙に貼り、施設内の掲示板に掲示し周知し

	ました。 利用者は、掲示物を興味深く見て、楽しんでくれていました。
--	--------------------------------------

<スポーツクラブ>

活動内容	(ソフトボール) ふれあいソフトボール大会が、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中止となりました。 天気の良い時は、定期的にキャッチボールをして、楽しみました。
活動内容	(カラオケ) 利用者が楽しみにしているカラオケは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、今年度は中止としました。

② 利用者の会活動

毎月第4木曜日に行い、利用者の意見などを出す場として、また、さまざまな係を決めたり行事の計画や反省などを話し合う場として行うようにしました。なるべく、自主性を尊重し援助を行うようにしました。

③ 実修行事

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、グループ外出、日帰り旅行、こころの結の祭り、初詣等の恒例行事は、全て中止としました。

また、県内行事（ふれあいソフトボール大会、音楽を楽しむ会等）も全て中止となったため、参加することができませんでした。

(7) 作業内容

① パン販売（パンの製造・販売作業）

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、販売先を確保できず、パンの製造、販売は、休止としました。

② 金具作業（金具の組み合わせ、ネジ分け（2本）、袋入れ、ホッチキス留め等の作業）

ひとり一人の作業能力に応じて、ソーシャルディスタンスをとり、単工程、全工程を各自できることに取り組んでいます。

準備から作業、片付けまでできる人が、ほとんどで正確に取り組むことができました。

納品は、利用者も数名同行し、その人に応じた方法で携わってもらいました。

③ 洗濯用具組立て・梱包作業（洗濯用ピンチ・ハンガー等の組立て・梱包等の作業）

作業によっては限られた人しか取り組めないこともあるが、ピンチ類の時は組み合わせ、フック付けや台紙に挟み込む工程や完成品の数を取る等の多くの人が取り組むことができました。10連ハンガーの発注が多くなり、材料や完成品でかなりスペースが必要となり、足元も危険な為、整理と工程バランスを考え、利用者が怪我をしないよう配慮に努めました。

④ 梱包作業（白い小箱等の梱包作業）

利用者が取り組みやすい作業であるため、みんなで協力して取り組むことができました。

荷下ろし・積み込みは、利用者が数名同行し作業をすることができました。

⑤ リサイクル分別作業（ペットボトル、アルミ缶、古紙、段ボール等の分別作業）

保護者や職員、関係機関より、リサイクル物品の協力を得て、定期的に、数名の利用者が販売店の分別機で分別作業を行いました。

利用者の気分転換にも繋がり、リサイクルポイントで菓子等に替え利用者のおやつとして使用させていただき、作業の成果にも繋がってきています。

⑥ CD分別作業（CDと包装紙等の分別作業）

令和2年2月より、新規作業として取り組みました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、作業量は減少しましたが、この作業は、作業工程の中で、利用者誰もが取り組める作業であるため、利用者は、ひとり一人の能力に応じた作業を興味深く、集中して取り組むことができました。

(8) 健康管理及び保健衛生

毎月1日に体重測定を実施しました。看護師・生活支援員によるバイタルチェックを毎日行い、健康管理に努めました。また、昼食後には自発的に歯磨きをするように促し、これを毎日の習慣になるよう支援しました。

毎日のウォーキング後や作業終了時は手洗い・うがいを行い、風邪等の予防に努めました。

また、利用者の定期健康診断（巡回車）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。

嘱託医は、年4回来所し利用者の様子を見てもらい、嘱託医の健康チェックを行いました。

(9) 地域社会・関係機関との連携

① 地域交流イベント等への参加

地域で行われる交流イベント（祭り、作品展示等）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、すべて中止となり地域住民との交流を深めることができませんでした。

② 実習生の受入れ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年度は、社会福祉士・保育士等の現場実習の受入れを中止しました。

③ 各特別支援学校高等部生徒の実習受入れ

特別支援学校高等部生徒：7名

(10) 各種会議の開催

施設内会議を下記のとおり定期的に行いました。

会 議	実施（曜）日	会 議	実施（曜）日
職員打ち合わせ会	毎・夕	給食会議	毎月/1回
支援会議	第1火曜日 17:30～	職員会議	第4火曜日 17:30～
個別支援会議	第3火曜日 17:30～	利用者の会	毎月/1回

(11) 防災・避難訓練の実施

避難訓練を実施しました。訓練を重ねてきたこともあり、声掛けでスムーズに机の下に避難することができました。また、屋外に迅速に避難することもできました。

避難訓練（地震を想定）：令和2年6月17日（水）11:00～11:10

参加人数：45名（内：13名職員）、避難時間：3分56秒

(12) 職員研修

三重県社会福祉協議会が主催する各種研修会や三重県知的障害者福祉協会、全日本自閉症支援者協会主催等の研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、リモート研修となりましたが、できる限り、参加するようにしました。

また、相談支援従事者研修、強度障がい支援者養成研修を受講して、職員の資質向上を図りました。

実施日	研 修 会 名	場 所	参加者
(R2) 7/27～7/28	三重県相談支援従事者初任者研修	津庁舎	職員 1名
8/5～8/6	三重県相談支援従事者初任者研修	三重県庁	職員 1名
8/6	社会保険事務セミナー	三重県総合文化センター	職員 1名
9/2	三重県相談支援従事者初任者研修	安濃総合支所	職員 1名
9/10	三重県相談支援従事者初任者研修	津庁舎	職員 1名
10/1	三重県相談支援従事者初任者研修	安濃総合支所	職員 1名
10/7～10/8	三重県相談支援従事者初任者研修	三重県庁	職員 1名
10/8～10/9	強度行動障がい支援者養成研修	じばさん三重	職員 1名
(R3) 3/18～3/19	強度行動障がい支援者養成研修	じばさん三重	職員 1名

3 共同生活援助事業所こころの結

(1) 概況

休日は毎週土曜日にヘルパー支援を受けて外出する人、また自分で公園まで散歩したり、スーパーへ買い物に行ったり、部屋でゆっくりとテレビを見たり、CDを聞いたりして休日を過ごしている人、毎週自宅に帰る人等休日の過ごし方は多種多様でした。

(2) 利用者の状況

① 障害支援区分（令和3年3月31日現在）

（単位：人）

区分	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男子	-	-	1	2	1	4
女子	-	-	1	1	2	4
計	-	-	2	3	3	8

① 利用者の年齢（平均年齢：46歳1か月・令和3年3月31日現在）

（単位：人）

年齢	男子	女子	計
20～29歳	1		1
30～39歳	2		2
40～49歳	-		-
50～59歳	1	4	5
計	4	4	8

② 利用状況（令和3年3月31日現在）

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延人数	179	157	181	185	173	174	186	175	172	191	182	210	2,165

4 日中一時支援事業

令和2年度も引き続き、津市、鈴鹿市、亀山市から委託を受け、日中一時支援事業を実施しました。利用者の状況や置かれている環境等の状況に応じて、利用者の立場に立った適切な支援を行ないました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策を図りながら対応しました。また、今年度も亀山市の利用者はありませんでした。

（令和2年度 利用状況）

（単位：日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
障がい児 利用日数	21	-	-	-	27	-	-	1	6	2	-	13	70
障がい者 利用日数	-	-	-	-	3	4	-	-	-	-	-	-	7
計	21	0	0	0	30	4	0	1	6	2	0	13	77

5 特定相談支援事業所/障害児相談支援事業所こころの結

(1) 概況

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、保健、医療、福祉、就労支援、教育等のサービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して指定計画支援サービス等を行いました。

必要に応じて、ソーシャルディスタンスをとり、電話相談、巡回相談（訪問）、外来相談も積極的にを行いました。

(2) 契約者の状況

<障がい児>	契約者数
幼稚園・保育園	5名
特別支援学級（小・中学校）	21名
特別支援学校	17名
重症心身（在宅）	6名
入院	0名
合計	49名

<障がい者>	契約者数
入所（入院も含む）	5名
生活介護	39名
就労移行支援事業	0名
就労継続支援 A 型	4名
就労継続支援 B 型	6名
就労	1名
在宅	2名
合計	57名

(3) 計画相談支援

- ① サービス利用支援（計画作成） 123件
- ② 継続サービス利用支援（モニタリング） 65件

(4) 利用者の状況

106名の利用者さんの支援を行いました。新型コロナウイルス感染症予防に努めながら、訪問・面談・会議等を行いました。モニタリング時の様子伺いは電話で聞くこともありました。

グループホームを利用している方で、家族が他県の方は、リモートでのモニタリング会議を行いました。

児童の相談が、増えてきており、保健センターからの紹介がほとんどでした。サービスを利用する前の面談を丁寧に行いながら、家族に寄り添えるように心掛けました。

令和2年度の新規利用者は、児童8名でした。

利用者の状況	利用者数
他県へ引越した人	0名
介護保険へ移行した人	1名
他の事業所に計画相談を移行した人	8名
サービス終了の人	1名
合計	10名